



ファラオの  
至宝を  
まもる  
2018



私たち日本人のみならず、世界各国から高い関心が寄せられている古代エジプト文明の秘宝は、人類共有の貴重な文化遺産です。首都カイロにあるエジプト考古学博物館には、ツタンカーメン王の黄金のマスクなどをはじめとした数々の至宝が展示されていますが、開館から100年以上が経過して建物の老朽化が目立ってきた上、展示スペースや技術、人材も不足しています。

こうした状況の中、日本政府はエジプト政府からの要請を受け、新しい博物館となる「大エジプト博物館」の建設に対する有償資金協力(円借款)を行うとともに、この博物館に付属する保存修復センターに対して、2008年より、博物館の運営や展示品となる文化財の保存修復等にかかる技術協力を行ってきました。

そして2016年11月より、「大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト」を開始し、ツタンカーメン王の墓から出土した文化財を含むエジプトの至宝の調査、移送、保存修復を日本とエジプトの専門家が共同で行うことで、大エジプト博物館職員の人材育成および技術移転を図っています。本シンポジウムでは、日本がエジプトの至宝をまもるために行っている技術協力の取組みをご紹介します。

仙台会場



日時：2018年11月3日(土)  
14:00～16:30(開場13:30)

場所：東北大学片平さくらホール

定員：190名

参加費：無料

申込み：下記HPよりお申込みください。

<http://geidai-icchc.geidai.ac.jp/>

東京会場



日時：2018年11月4日(日)  
14:00～16:30(開場13:30)

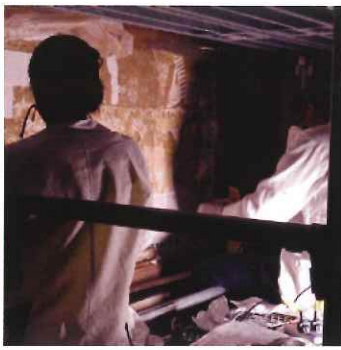
場所：東京藝術大学音楽学部第6ホール

定員：200名

参加費：無料

申込み：下記HPよりお申込みください。

<http://geidai-icchc.geidai.ac.jp/>



仙台:11/3(土)14:00-16:30 東京:11/4(日)14:00-16:30

👤 プログラム 🎒

- 14:00-14:10 ◇ 開会の挨拶およびプロジェクト概要  
中村三樹男 (大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト 総括)
- 14:10-14:20 ◆ JICA 講演 JICA における文化遺産事業の取組み  
北松祐香 (JICA 社会基盤・平和構築部 都市・地域開発グループ第二チーム 調査役)
- 14:20-15:00 ◆ 基調講演 対象とする古代エジプトの至宝の魅力  
河合望 (金沢大学 新学術創成研究機構 准教授)
- 15:00-15:10 ◇ 休憩
- 15:10-15:30 ◆ 講演 1 古王国マスタバ墓の壁画の移送と保存修復  
谷口陽子 (筑波大学 人文社会系 准教授)
- 15:30-15:50 ◆ 講演 2 ツタンカーメン王の服飾品を保存する—最前線からの報告 2  
石井美恵 (佐賀大学 芸術地域デザイン学部 准教授)
- 15:50-16:10 ◆ 講演 3 ツタンカーメンの戦車と儀式用ベッドの移送とその事前調査  
岡田靖 (一般社団法人木文研 代表理事)
- 16:10-16:25 ◇ 質疑応答
- 16:25-16:30 ◇ 閉会の挨拶 桐野文良 (東京藝術大学 美術学部国際文化財修復プロジェクト室 室長)

👤 司会: 木島隆康 (東京藝術大学 美術学部国際文化財修復プロジェクト室 教授)

仙台会場: 東北大学



片平キャンパス全体図  
<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/katahira/>  
片平キャンパスEエリア詳細図(さくらホール付近)  
<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/katahira/areae.html>

東京会場: 東京藝術大学



お問合せ先: 東京藝術大学美術学部国際文化財修復プロジェクト室 シンポジウム係  
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 開催日当日連絡先: 080-8434-3122  
メールアドレス: icchc@ml.geidai.ac.jp